

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### 佐賀市立東与賀中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

令和7年4月17日（木）

#### ■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

#### ■ 調査の内容

(1) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

| 児童(生徒)に対する調査                                                                    | 学校に対する調査                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査<br>(例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、<br>基本的生活習慣、家庭学習の状況 など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、<br>学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など |

(2) 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

|                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。 |
| ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。                      |
| 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。                                                         |

#### ■ 教科に関する調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は、小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語、算数・数学、理科に限られています。さらに、出題は、各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■調査結果及び考察

### 1 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

#### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」「**どちらかと言えば当てはまる**」と肯定的に回答した児童(生徒)の割合。

| 佐賀市学校教育ビジョンに関連する調査項目                                  | 本校 %  | 全国平均 % |
|-------------------------------------------------------|-------|--------|
| 学校に行くのは楽しいと思う。                                        | 80.6% | 86.1%  |
| 将来の夢や目標を持っている。                                        | 61.2% | 67.5%  |
| 自分には、よいところがあると思う                                      | 72.5% | 86.2%  |
| 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている | 80.7% | 84.7%  |

「自分には、よいところがある」の項目では、全国平均を 13.7 ポイント下回っています。また、「将来の夢や目標を持っている」の項目では、全国平均を 6.3 ポイント下回っています。この結果を受けて、自己を分析することで自分を見つめて将来について考え、自己肯定感を高める活動を行う必要があると考えます。

| 家庭学習の様子に関する調査の項目                              | 本校%   | 全国平均 % |
|-----------------------------------------------|-------|--------|
| 学校の授業時間以外に、普段 1 日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3 時間以上」 | 0.0%  | 9.9%   |
| 「2 時間以上、3 時間より少ない」                            | 19.4% | 20.9%  |
| 「1 時間以上、2 時間より少ない」                            | 24.2% | 30.8%  |
| 「30 分以上、1 時間より少ない」                            | 19.4% | 19.1%  |
| 「30 分より少ない」                                   | 22.4% | 11.3%  |
| 「全くしない」                                       | 14.5% | 7.7%   |

「3 時間以上」勉強すると答えた生徒は、0 %であり、全国平均と 9.9 ポイントと大きく開きがある。また、ボリュームゾーンである「1 時間以上、2 時間より少ない」の項目では、全国平均と 6.6 ポイント低いという結果が出ています。また、「全くしない」という生徒は 6.8 ポイント、全国平均を上回っています。この結果を受けて、家庭学習の意義を伝えて家庭学習が習慣化するように指導してきます。

#### (2)改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

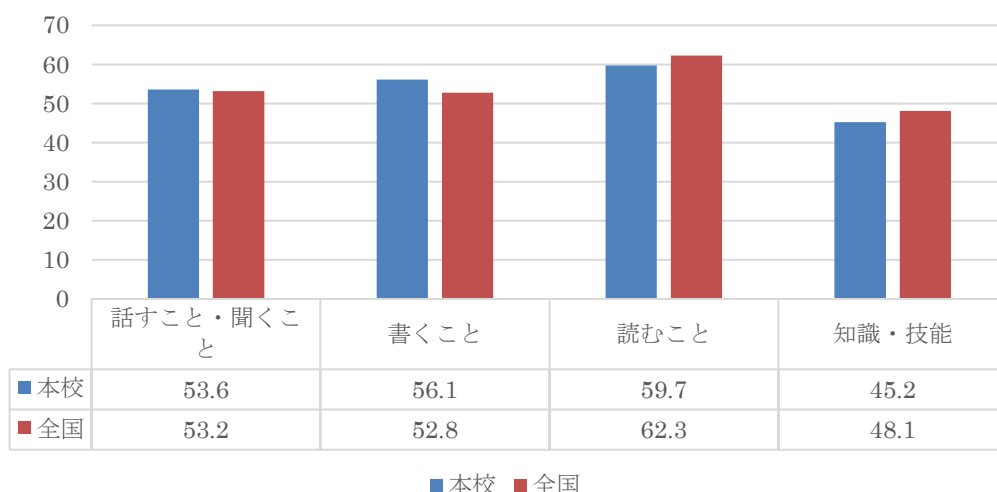
- 主体性を伸ばすために生徒が学びやすい環境を整えます。「学校に行くのは楽しい」と生徒たちが思えるように全教科・全領域（特別活動、総合的な学習の時間など）で、生徒が主体的に取り組むことができる課題の設定や、学習環境を整備します。
- 学校で行われる教育活動全般で出る課題解決の場面において、自分に合う学び方やペースを選択できるように取り組みます。
- 行事をはじめ、日々の学校生活の中で出番・役割の場を設け、「承認ボード」を設置して自分の良さに気づき、他者を認めることで、東与賀中学校で挑戦することができる雰囲気作りを行います。

##### 【ご家庭では】

- 家庭の対話の中からお子さんの「がんばり」を見つけてほめてください。また、将来の夢や目標について家族で話をする機会を設けて、お子さんの将来に対する不安や目標について聞いてください。
- 佐賀県教育委員会から配布されている「家庭学習の手引き」をご覧ください。生活リズム、学ぶ雰囲気、小さな頑張り、家族の対話の項目を記入して家庭学習の習慣化を進めて、保護者の方とお子さん自身が対話して、学習時間や内容を決めて下さい。

## 2 国 語

全国平均正答率との比較（中学校国語）



### (1) 結 果

「話すこと・聞くこと」「書くこと」は、全国平均正答率を上回っています。しかし、「読むこと」「知識・技能」は全国平均正答率を下回っています。無解答率をみると、ほとんどの問題で全国平均よりも低くなっています。

### (2) 成果と課題

今回の調査で、「書くこと」が 3.3 ポイント上回りました。普段から、漢字や言葉の学習をし、自分の考えを整理したり、自分の言葉で伝えたりしていることの成果が表れていると考えられます。課題は、「知識・技能」の正答率を上げることです。正答率 45.2% は、全国平均正答率 48.1% を下回っており、苦手になっている生徒が多くいます。主体的な学びの視点で授業改善を図り、生徒の知識・技能の力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながると捉えています。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

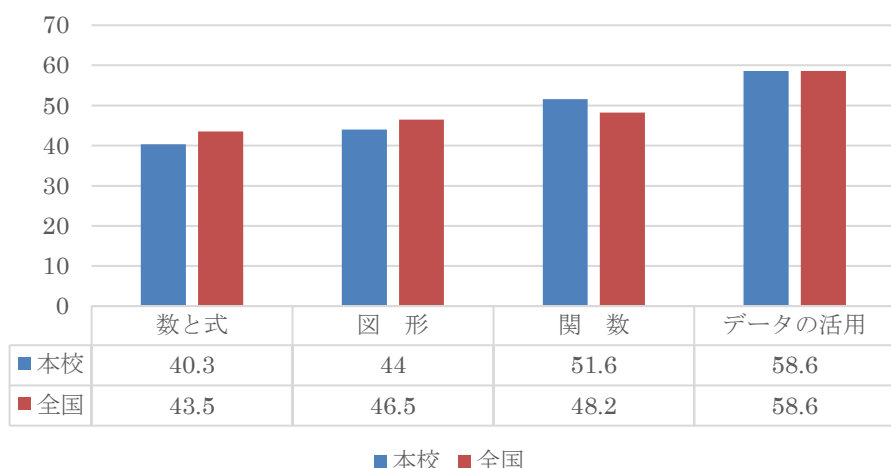
- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やしたり、インタビューや案内をしたりするなど、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。

#### 【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで、文の構成、文節ごとの区切り、言葉の意味を理解することができ、要点や意図を捉えることもつながります。
- 読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、「読む」を楽しめるようになります。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、お子さんの読書習慣をつける上でおすすめです。

### 3 算数(数学)

全国平均正答率との比較 (中学校数学)



#### (1)結 果

「数と式」、「図形」の領域では全国平均を下回っていました。「関数」、「データの活用」の領域では全国平均を上回っていました。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より高くなっています。

#### (2)成果と課題

今回の調査では、「数と式」の領域の、1 から 9 までの数の中から素数を全て選ぶ問題や「図形」の領域の、証明をされた事柄についての問題の正答率が全国平均を下回っていました。「関数」の領域の、一次関数の変化の割合について問われている問題の正答率が全国平均を 13.7 ポイント、「データの活用」の領域の相対度数に関して問われている問題を 7.5 ポイント上回っていました。今後、基礎的な内容の知識理解を深め、図形の観察や操作活動などを通して、図形の意味や性質を考えることが重要であると捉えています。

#### (3)学力向上のための取り組み

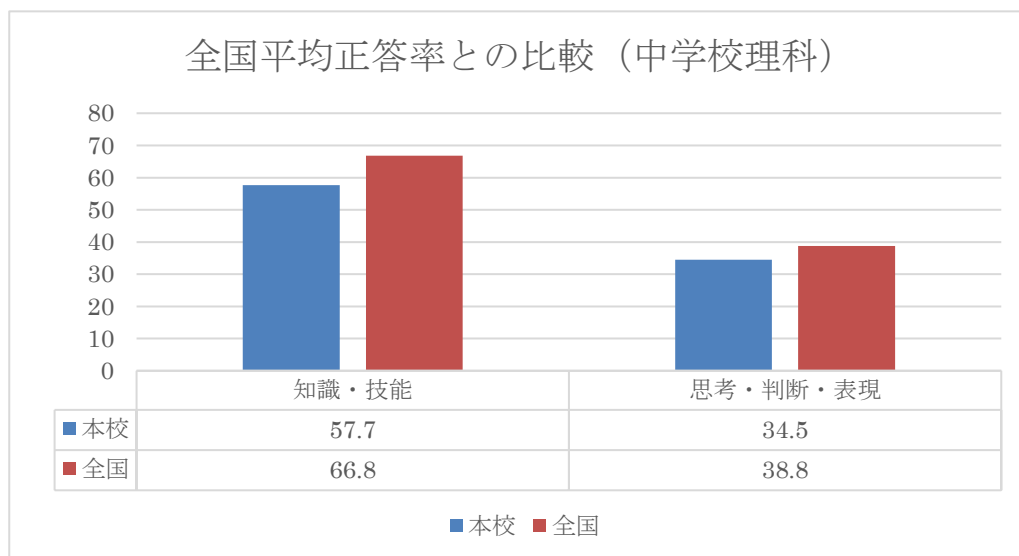
##### 【学校では】

- 基礎的な計算問題を繰り返し解かせたり、学習用 PC を利用して既習事項の復習をいつでも行える環境を整えたりすることで基礎の確実な定着を図ります。
- 引き続き授業内の『学び合い』の中で、説明する活動を多く入れ、「思考力・判断力・表現力」を伸ばします。

##### 【ご家庭では】

- その日に学習した内容の復習や解いた問題をもう一度解くといった学習を行いましょう。
- わからなかった問題があれば、そのままにせず、印をつけるなどして、後から先生や友達に聞いたり、調べたりできるようにしましょう。わからないまま放置するのが一番危険です。
- お子さんのワークやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや賞賛の言葉をかけてください。

## 4 理科



### (1) 結果

全国平均より低くなっており、とくに「知識・技能」は、全国平均を大きく下回る結果となりました。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

### (2) 成果と課題

今回の調査では、全体的に全国平均を大きく下回る結果でした。しかし、身のまわりの事象から生じた疑問を解決するための課題を設定する問題や、身近な生活との関連に着目した振り返りを表現する問題などにおいては、全国平均とほぼ同じ結果が出ています。つまり、思考・判断・表現の観点に含まれる記述式の問題においては高い結果であったといえます。しかし、「粒子」の領域の元素記号を記述する問題の正答率が全国平均正答率を大きく下回っていました。特に、塩素の元素記号を記述する基礎的な知識を問う問題において正答率が低く、無回答率も高い結果でした。また、「生命」の領域の小腸の柔毛、肺胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものを選択する問題が、全国平均正答率を下回るなど、思考を問う問題にも課題が見られました。日々の授業で基本を押さえつつ、説明する活動、書く活動を継続して取り入れ、記述した内容を確認させることが重要であると捉えています。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 理科の授業において、まずは基礎・基本の定着を図ります。同時に、事象提示、課題の設定をした後、「仮説・予想の設定→検証計画の立案→観察・実験の実施→結果の処理」といった見通しをもたせ、その結果をもとに考察して振り返るといった、探究の過程を意識させた学習指導を行います。そのような指導により、生徒の思考力、判断力、表現力の向上を目指します。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、結果に対する考察を論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。

#### 【ご家庭では】

- 理科が好きになる場合も、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。星空を見上げて星座の話をしたり、コップの結露の理由を考えたりすることで、習ったことと日常生活での現象を結びつけると理解が深まることもあります。